用途／温泉施設鉄骨

概要・工法・効果

■ステンレス鋼使用の効果

①建築鉄骨構造材として、建築構造用ステンレス鋼材（JIS G4321）を使用できる。
②温泉施設の個別の環境条件毎に、最適な材質選定が可能である。
③清潔で、明るく軽快な空間形成が実現できる。

事例紹介

■ホテル霧島キャッスル大浴場

【 経緯 】

・亜鉛めっき鉄骨（パイプトラス）での建設後、温泉の硫黄成分が原因と考えられる腐食が発生。
・大断面集成材で建替え改修するが、腐朽菌による腐朽が発生し、再度の建替え改修が必要となる。

【 環境条件 】

・室内温度：25 ～ 40℃　・室内湿度：60 ～ 80%　・温泉水：単純硫黄泉 pH6.3（中性湯）

【 材料選定 】

・腐食要因となる温度、湿度、硫化水素及び pH の条件下、SUS304A が採用され、ステンレス構造による明るく軽快で清潔な空間形成が実現される。

実績

発注者	設計者	施設名	主要材質	主要形状 / サイズ	重量 / トン
ホテル霧島	大成建設㈱	温泉大浴場	SUS304A	BH-500×200	34.0